

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日: 2021年 2月 1日

事業所名: とべこどもデイ青空

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。
 評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保		○		利用人数の多い時には、お子様一人一人の希望を聞き、活動を室内と外出に分けて行っています。	50%	40%		10%	利用人数の多い時には、お子様一人一人の希望を聞き、活動を室内と外出に分けて行っています。
	2 職員の適切な配置		○		人員配置は法令順守しています。	60%	10%		30%	今後も人員配置の法令順守をしっかりと行いながら、利用人数に応じて、人員の追加を行っています。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備	○				100%				今後も利用者それぞれの実態に合わせた環境整備、情報の伝達方法を日々検討し、実施してまいります。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	○			毎日清掃し、感染症予防にも配慮しています。	80%	20%			今後も清潔な環境、感染症に対し、安全な場を提供できるよう努力してまいります。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	○			毎日ミーティングと振り返りの時間を設け、その日の計画を立て、実施した結果を話し合い、次の日の支援へ役立てています。	/	/	/	/	これまで同様、スタッフ間での連携を密に行い、より良い支援を目指して取り組んでまいります。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施			○		/	/	/	/	外部機関との連携を図り、業務改善に取り組み、さらなる支援の向上に努めます。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	○			毎月研修を行っています。	/	/	/	/	今後も、職員の資質向上を目指し、様々な研修を開催、参加してまいります。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	○				100%				これまで通り、モニタリングや日々の送迎等を利用して、保護者様と意見交換をし、利用者一人一人に合った支援計画を作成
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	○				100%				今後も利用者一人一人の実態をしっかりと把握し、必要に応じて項目の追加や具体的な支援内容の検討、変更を行ってまいります。
	3 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	○				/	/	/	/	今後も利用者一人一人の実態とニーズをしっかりと把握し、様々な活動方法や内容を検討して、支援計画の作成を行ってまいります。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標		
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見	
適切な支援の提供 (続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	○				90%	10%			これまで同様スタッフ全員が支援計画の内容を理解し、個人に合った支援、目標達成に向けた支援を行ってまいります。	
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	○				/	/	/	/	これまで同様、毎日のミーティングや振り返りをもとに、スタッフ全員で活動プログラムを検討、実施してまいります。	
	6	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	○				100%				今後も振り返りノートや報告メールを活用し、活動が固定化しないよう様々なアイデアを出し合っており、有意義な活動内容を目指してまいります。	
	7	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	○				/	/	/	/	今後も利用者個人の課題をスタッフ全員がしっかりと把握し、利用時間に応じた適切な支援を検討、実施してまいります。	
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	○			毎日ミーティングを実施し、活動内容の確認、周知をし、その日のスタッフそれぞれの役割を確認、設定し、全員で共通理解を深めたうえで支援にあたっております。	/	/	/	/	これまで同様、毎日ミーティングを実施し、活動内容の確認、周知を行いスタッフそれぞれの役割を確認、設定し、全員で共通理解を深めたうえで支援にあ	
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	○			毎日振り返りを行い、出た息遣いや反省、良かったことなどを、その日出勤していないスタッフにも周知するために、報告ノートへの記入と、報告メールの送信をしています。	/	/	/	/	これまで同様、一日の振り返りを実施し、より良い支援の方法の検討や利用者の現状の把握をしっかりと行い、明日からの支援に生かしてまいります。	
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	○				/	/	/	/	これまで同様、利用者一人一人の記録をしっかりと記し、継続的な支援を行えるよう努めてまいります。	
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	○				/	/	/	/	今後も年2回のモニタリングと、日々の送迎での情報交換等を利用して、利用者の実態に合わせた支援計画等の変更を行ってまいります。	
	関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	○				/	/	/	/	今後も利用者一人一人の実態把握や他施設との連携した支援を目指し、担当者会議への積極的な参加と、開催の提案、依頼をしてまいります。
		2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	/	/	/		/	/	/	/	

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
関係機関との連携 (続き)	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	/	/	/		/	/	/	/	/	
	4 児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	○				/	/	/	/	/	これまで同様、利用者の関わる各機関との連携を密に行い、円滑な移行支援に努めてまいります。
	5 他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供	○				/	/	/	/	/	これまで同様、他の事業所への円滑な移行支援のために、十分な情報提供と移行後の連携にも力を入れてまいります。
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	○				/	/	/	/	/	今後も各専門機関との連携や専門機関での研修への参加を積極的に行い、さらなる支援の向上に努めてまいります。
	7 児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会の提供		○			20%	10%	20%	40%		長期休業を利用して、地域の児童クラブ等と連携し、障がいのない子どもと活動する機会を設定してまいります。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営		○			/	/	/	/	/	本事業所の収穫祭等を利用して、地域の方々や障がいのない子どもたちを招待し、地域に根差した開かれた施設を目指してまいります。
	保護者への説明責任・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	○				90%	10%			
2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	○					90%	10%				今後も支援計画を示しながら支援内容の説明、相談を実施してまいります。
3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	○					60%	10%	10%	10%		今後、研修等を活用してペアレント・トレーニングについての知識を学び、支援の実施をしてまいります。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
保護者への説明責任・連携支援（続き）	4	○			送迎時に当日の様子等をお話させて頂き、その都度お子様の発達状況や課題についての共通理解を深めています。	100%					今後も、送迎時にお子様の様子等をお話しする中で、発達の状況についてや、課題についての共通理解を深めてまいります。
	5	○			保護者様からのご相談については、責任者に報告し、可能な限りミーティング等で周知しています。	90%	10%				今後も、保護者様からのご相談について、責任者を中心に、お力添えできるよう、検討、お話しを行ってまいります。
	6	○			現在はコロナ感染症予防のため、実施しておりませんが、例年、バーベキューや稲刈りなどのイベントを開催し、保護者様へも参加を呼びかけ、たくさんのご参加を頂いております。	20%	20%	10%	50%		コロナウイルス感染症の状況を見ながら、これまでのようにイベントと合わせて保護者会を開催したいと考えております。
	7	○				60%			40%		これまで同様、管理者、責任者を中心に対応にあたり、保護者様等からのご意見を真摯に受け止め、より良い施設運営を目指してまいります。
	8	○				90%	10%				今後も保護者様、利用者様の実態に合わせ、直接お話をしたり、IC機器等を用いたりしながら、意思疎通、情報伝達に努めてまいります。
	9	○					60%	10%	20%	10%	
	10	○				90%			10%		これまで同様、個人情報の取り扱いには十分注意してまいります。また、プライバシー調査を行い、保護者様のご意向に沿って配布物への写真の掲載等を行っ
非常時等の対応	1	○				90%					今後も、緊急時マニュアル等をもとに、保護者様や関係機関と連携を図り、安全な環境づくりに努めてまいります。
	2	○				90%					これまで同様、年3回以上の避難訓練を実施してまいります。また、必要に応じ、訓練の種類に関しましても精選しながら、計画、実施をしてまいります。

区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ		わからない
非常時等の対応 (続き)	3 虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	○			定期的に研修会を実施したり、外部研修への参加を行っています。	/	/	/	/	これまで通り、年2回職員全体の虐待防止研修会と、関連機関が開催する研修会への参加を続けてまいります。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	○				/	/	/	/	やむを得ず身体拘束を行う場合には、しっかりと利用者様、保護者様への説明を行い、支援計画へ記載し、職員全員で周知、対応してまいります。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	○				/	/	/	/	食物アレルギーに関しては、医師の指示書を最優先に、保護者様とご相談させていただきながら慎重に対応してまいります。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	○			ヒヤリハットをその都度記入、ファイリングし、発生事項を全スタッフに報告し、再発防止への取り組みについての話し合いを行っています。	/	/	/	/	これまで同様、ヒヤリハットを記入、ファイリングし、発生事項を全職員に周知し、今後の対応策をしっかりと話し合い、再発防止に全力で努めてまいります。
満足度	1 子どもは通所を楽しみにしているか	/	/	/		100%				今後も通所を楽しみにして頂けるよう工夫を凝らした活動、安心できる環境づくりに努めてまいります。
	2 事業所の支援に満足しているか	/	/	/		100%				今後も我々の支援に対して、安心していただけるよう、スタッフ間での話し合いや連携を密に図り、ご利用者様一人一人に合った支援を目指して日々成長して